

# 由布市 議会だより



No. 48  
2017年10月号



4年間ありがとうございました。

## CONTENTS

|                                  |                                      |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| ● 平成29年第3回定例会が開催                 | 1                                    |
| ● 平成29年第2回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会の報告 | 1                                    |
| ● 平成28年度決算の概要                    | 2                                    |
| ● 委員会報告                          | 3                                    |
| ● 視察調査報告                         | 4                                    |
| ● 一般質問「市政を問う」                    | 5～10                                 |
| ■ 鷺野 弘一 議員                       | 宮田浄水場の今後の計画について 等                    |
| ■ 野上 安一 議員                       | 安心して子どもの出産・子育てができる由布市について 等          |
| ■ 加藤 幸雄 議員                       | やはり気になる由布市の財政成果編 等                   |
| ■ 甲斐 裕一 議員                       | 有害鳥獣被害対策について 等                       |
| ■ 田中真理子 議員                       | 九州北部に見る異常気象時代の備えについて 等               |
| ■ 長谷川建策 議員                       | 日田地域における豪雨災害の湯布院観光の影響と由布市の地震復興について 等 |
| ■ 工藤 俊次 議員                       | 小中学校の給食費について 等                       |
| ■ 太田 正美 議員                       | 指定管理者制度の在り方について 等                    |
| ■ 小林華弥子 議員                       | 隣接市町村間の開発事業に関する由布市の対応について 等          |
| ■ 太田洋一郎 議員                       | 福岡・大分豪雨災害の影響による観光へのダメージについて 等        |
| ■ 淵野けさ子 議員                       | 若者、高齢者、共に暮らしやすい住宅環境を 等               |
| ■ 佐藤 郁夫 議員                       | 「連携中枢都市圏」について 等                      |
| ● 請願・陳情の結果・賛否一覧表                 | 裏表紙                                  |

# 第3回定例会が開催

第3回定例会が9月8日に開会し、26日までの19日間開催されました。本定例会では 報告7件、認定2件、諮問1件、議案15件が提案、審議され、特に平成28年度決算を中心に審議しました。

※決算の内容については次ページをご覧ください。

## 庄内公民館の 工事請負契約

庄内公民館の工事請負契約締結を  
今定例会で可決しました。これに  
よって、本格的に庄内公民館の建設が  
始まることになります。

## 6億325万8千円の 補正予算を可決

今定例会で提案された補正予算は、  
普通交付税の確定によるものや、ゆふ  
の丘プラザや陣屋の村の修繕費など  
が計上され、一般会計総額は187億  
4,424万9千円となりました。

## ゆふの丘プラザの新たな出発

閉館していたゆふの丘プラザの新たな指定管理者が選定されました。  
また補正予算に施設の修繕費も計上され、来年の開館に向けて準備が進め  
られています。

しかし指定管理以降長きにわたり改定されていない利用料金について  
も疑問の声が出され、今後の施設の経営方針や指定管理のあり方につい  
て、今一度検討し直すべきではないかとの意見も出されました。

### 人権擁護委員の 推薦について

人権擁護委員の任期満  
了に伴い、梅野悦子氏  
を再任にすることに同  
意しました。

## 平成29年第2回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会の報告

会議名 / 平成29年第2回大分県後期高齢者医療広域連合議会定例会  
開催日時 / 平成29年7月31日(月)午後1時00分

### ◆ 大分県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について

任期満了に伴い、新たに大分市の仲家孝治氏の選任について議会の同意について全員一致で同意したものです。

### ◆ 平成28年度大分県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算について

一般会計は、歳入総額 7億3,378万4,552円、歳出総額 6億8,730万1,753円、歳入歳出差引残額は4,648万2,799円。

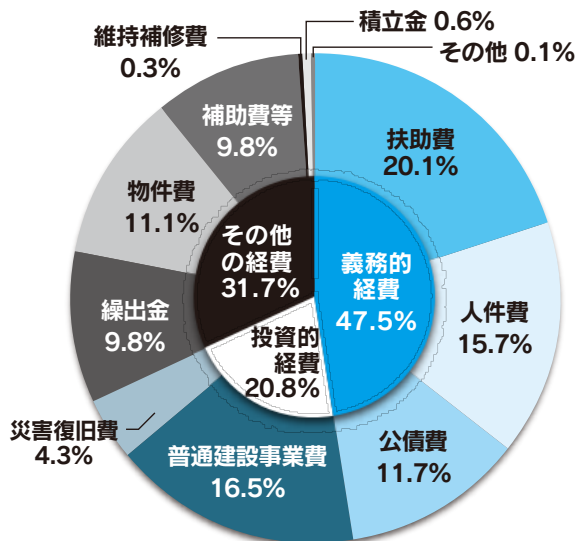
特別会計は、歳入総額 1,893億5,116万2,354円、歳出総額 1,785億1,599万6,775円、歳入歳出差引残額は、108億3,516万5,579円となった。

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員

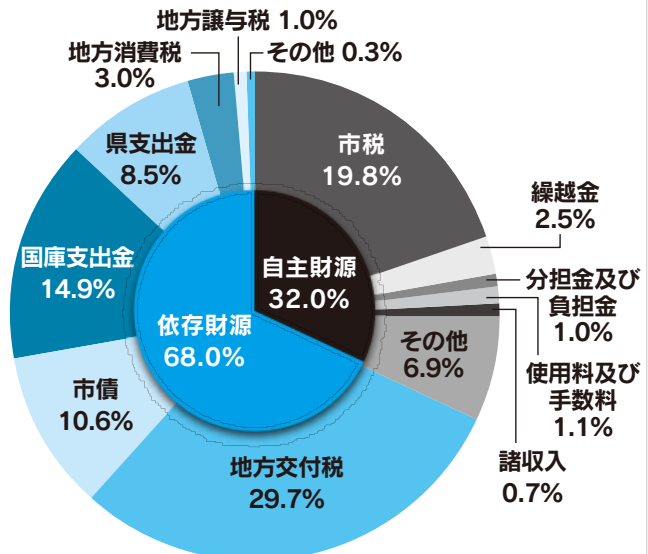
野上 安一

# 平成28年度 決算の概要

歳出構成比率



歳入構成比率



(一般会計、特別会計) 総計決算収支の状況

(単位：千円)

| 区分            | 28年度       | 27年度       | 対前年度増減額   |
|---------------|------------|------------|-----------|
| 歳入総額 A        | 30,135,948 | 30,209,781 | △ 73,833  |
| 歳出総額 B        | 28,493,043 | 29,128,460 | △ 635,417 |
| 形式収支(A - B) C | 1,642,905  | 1,081,321  | 561,584   |
| 翌年度への繰越財源 D   | 682,736    | 179,713    | 503,023   |
| 実質収支額(C - D)  | 960,169    | 901,608    | 58,561    |

## 平成28年度の由布市の財政状況

一般会計の歳入総額は200億9,402万2千円で、前年度に比べ2億4,106万5千円の増です。歳出総額は185億7,643万6千円で、前年度に比べ4億5,750万1千円の減です。形式収支が15億1,758万6千円、この額から翌年度に繰越すべき財源の翌年度繰越金6億8,273万6千円を差し引いて、実質収支額は8億3,485万円です。

質疑の中で、婚活支援事業、地域おこし協力隊事業及び由布市に住みたい事業については、いずれも人口減少と定住化対策に対応した由布市への人口誘導を目指す事業であります。継続的な事業展開の中で各事務事業の進捗状況の把握、特に婚活事業ではカップルの成婚状況、また由布市に住みたい事業では契約等成立後の定住実態の調査等を実施し、一層の人口の定着と誘導に結びつく具体的な手段、戦略が練られるよう意見を付しました。

また水道事業会計については、水を供給すればするほど経営を悪化させる危機的な状況が続いています。この問題と真剣に向き合った抜本的な対策を講じることが必要です。議論を尽くすためにも取水から給水、財務、そして料金体系に至るまで様々な課題に連動した複合的なシミュレーションをもって検証された水道事業の長期的な事業計画と経営ビジョンが早急に示されるよう対応を求める意見が出されました。

【認定第1号】平成28年度由布市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定について

【認定第2号】平成28年度由布市水道事業会計収支決算の認定について

【審査の結果】賛成多数で認定すべきと決定



# 委員会報告

## 総務常任委員会

### 由布市地域活性化拠点施設条例の制定について

旧大津留小学校を地域住民の交流を促進する場として提供し、地域自らが、まちづくりを行うための拠点施設として設置することについて条例で定めるものである。

委員会では、指定管理者に管理を任せ際には、管理運営に過度な負担がかからないよう、施設修繕等の費用負担について事前に十分な協議をしておくべきとの意見が出された。

全員一致で原案可決すべきと決定。

### 平成29年度 由布市一般会計補正予算(第2号)

委員会に係る主なものとして、地域コミュニティ形成促進事業1,200万円は旧大津留小学校非常階段改修工事、湯布院地域づくり推進事業7,055万6千円は湯布院方面隊第3分団第3部の車庫兼詰所建設費増額分と湯平地区道

路改良の物件補償と土地購入費、挟間赤野消防車庫建設に伴う補助金507万6千円等について審査を行った。  
全員一致で原案可決すべきと決定。

## 教育民生常任委員会

### 由布市自然体験学習施設「由布市ゆふの丘プラザ」の指定管理者の指定について

指定管理者のこれまでの業務内容は、食堂等の経営が主であり、宿泊業務や研修事業についてのノウハウはないように伺える上に、指定管理以降、長きにわたり改定されていない利用料金についても、委員より疑問の声が出された。今後の施設の経営方針や指定管理のあり方について、今一度検討し直すべきではないかとの意見も出された。

賛成多数で原案可決すべきと決定。

### 平成29年度 由布市一般会計補正予算(第2号)

委員会に関する主なものは、歳出3款2項2目子育て支援費の1,773万1千円は保育所活動推進事業に、10款6項1目社会教育総務費374万1千円は自治公民館の整備に係る補助金で、今回は古野郷公民館、高崎公民館、柚の木

公民館、竹の中公民館の4館を修繕する。10款6項5目交流体験施設費1,045万8千円はゆふの丘プラザの修繕工事に充てられる。

委員からは、今回、小学生が柔道等の全国大会へ出場するための補助金13万7千円が組まれてたが、全国大会等に出場する様々な選手に、柔軟に対応できるように、規則の改正などを要望する声があった。

全員一致で原案可決すべきと決定。

## 産業建設常任委員会

### 由布市観光情報発信拠点施設の設置条例の制定について

由布市観光情報発信拠点施設の設置に伴い条例を制定するものである。

要旨として、市が将来にわたり全国的な観光振興と魅力的なまちづくりを進めるための施設の基本となる事業・管理業務方針を定め、来年度4月開設に向け整備を行うものとしている。

委員会では、観光案内や施設の利用料等だけで指定管理者の運営はやっていけないのかとの意見が出され、担当課からは、やはり運営は困難であるため、市としての助成はやむを得ないとの回答であった。今後は、施設の設置目的に沿っ

た円滑な運営を、また将来自立した運営ができるよう企業努力をしていくこと  
の意見を付した。

全員一致で原案可決すべきと決定。

### 平成29年度 由布市一般会計補正予算(第2号)

委員会に関する主なものは、歳出、4款衛生費、水道未普及地域完全事業で施設整備補助金1,321万8千円(5地区)。6款農林水産業費、農村交流施設維持管理事業で陣屋の村維持修繕工事費他1,729万8千円。7款観光費、地域イメージ向上対策事業費の湯の坪街道のトイレ新築工事1,894万9千円。8款土木費、急傾斜地崩壊対策事業費の蛇口地区工事750万円。11款災害復旧費、公共土木施設災害復旧費1億7,700万円が主なもの。

賛成多数で原案可決すべきと決定。



# 視察調査報告

## 総務 常任委員会

委員長  
廣末 英徳

視察日時 平成29年7月19日(水)～21日(金)

視察先 東京都杉並区・新潟県小千谷市・新潟県魚沼市

視察内容  
① ふるさと納税と小千谷市との災害協定他について(杉並区)  
② 杉並区との災害協定と新潟県中越地震の教訓を活かした災害に備えたまちづくり(小千谷市)  
③ 過疎地域への支援事業「地域との絆」推進事業について(魚沼市)

### 【視察結果】

#### ●ふるさと納税について

ふるさと納税については、総務省の通知があったように返礼品率の割合をはじめ今後、制度の見直し、改正等が予想される状況にあります。由布市へふるさと納税をしていただいた方々へ節度を持ち、真心こめた市内の魅力的な特産品をもって返礼にあたっていくことは大切なことであると考えています。一方で、制度の趣旨に立ち返り、納税者の方々がふるさととして選択してくれた由布市を応援していると実感できるよう、より具体的な選択型寄付メニューの設定、頂いた寄附金の使い道を積極的にアピールできるような事業メニューを築いていくことが、制度を継続的に活用していく上で次なる課題であると捉えたところです。

#### ●災害協定・災害に備えたまちづくりについて

小千谷市、杉並区の災害時における相互応援に関する協定について、実際に発生した新潟県中越地震災を通して、双方の自治体より当時の状況を聞くことができた。昨年、地震を経験した由布市においても同時に被災する可能性の低い地域との災害相互応援に関する協定、また、震災の教訓を風化させない取り組み、山間地域への衛星携帯電話の設置等、災害への備えについてこれからの研鑽を重ね、災害にしっかりと対応できるまち由布市の構築に向け提言してまいります。

## 教育民生 常任委員会

委員長  
瀧野けさ子

視察日時 平成29年7月12日(水)～14日(金)

視察先 栃木県矢板市・群馬県渋川市・長野県木曽町

視察内容  
① 中学生海外派遣事業、未来はぐくみプロジェクトについて(矢板市)  
② 学校給食完全無料化事業について(渋川市)  
③ メンタルヘルス、地域包括ケア事業について(木曽町)

### 【視察結果】

#### ●学校給食完全無料化事業について

一気に全額を市が負担するのではなく、一部補助など段階的に実施していくことに工夫を感じると共に、子育て支援の一環とする事で、少子化対策や子育て世代の経済的負担を軽減し、未来を見つめる施策に感動しました。

また、地産地消と言った地域農業の活性化も目的としており、安全安心な農産物の提供や地域に元気を届けることも目的としていました。

総合的な意見として、全国的にも無料化が進められている中、由布市においてもそれに向けて、一歩踏み込む時期に来ているのではないかと委員一同意見が一致しました。

#### ●メンタルヘルス、地域包括ケア事業について

包括支援センターは、民間委託ではなく行政直轄なので、担当保健師がきめ細かく、責任感を持って対応されている姿勢を感じられました。どの自治体にも共通の問題が山積し、職員が対応に追われますが、素晴らしい事例は見習っていききたいと感じました。

## 産業建設 常任委員会

委員長  
甲斐 裕一

視察日時 平成29年7月10日(月)～12日(水)

視察先 北海道滝川市、石狩市

視察内容  
① 菜の花のあるまちづくりについて(滝川市)  
② 石狩農業振興計画について(石狩市)

### 【視察結果】

#### ●菜の花のあるまちづくりについて

農業・観光が連携した良い事業であると感じました。しかしインバウンドによる観光客のマナーについては、観光地における重要課題です。滝川市はイベント中に多言語対応できる職員が通訳スタッフとして従事し対応しており、由布市内のイベントにおいても外国人観光客が多く見込まれるものについては対応しなければいけないと考えます。

由布市でも農業へ関心をもってもらうイベントも考えていけたらという思いがした次第です。

#### ●石狩農業振興計画について

道の駅を活用した産業振興については、農産物、加工品の販売拡大に向けて力を入れていくとのことであり、素晴らしい事業だと思います。

由布市でも、策定の年に入っているが、石狩市の策定計画の1例も参考にしていける必要があると感じました。

また、石狩市の視察で驚かされたのは、「石狩米」の大量生産です。担当職員も言っていたが、昔は「北海道の米は食べられない」というのが実情でした。現在は50ヘクタールの水田で耕作し、札幌市と共有して外国と取引がされているとのこと。





鷺野 弘一 議員

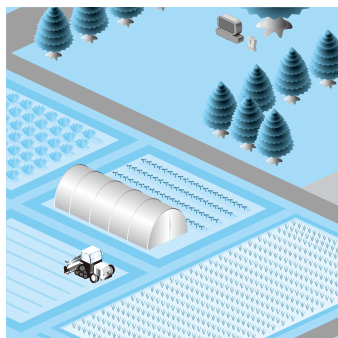
## 宮田浄水場の今後の計画について

**Q** 新水源として深井戸を掘る計画を実行したが、水質問題等があったために中止となった・宮田浄水場の老朽化と今後の計画についての考えを。

**A** (市長) 今後につきましては、既に実施した耐震診断の結果に基づいて、本年度、補修・補強工事の工法や事業費等について、検証、検討を行い、改修計画案を作成することとしています。新水源の水利権や建設事業費、水質検査等の検証結果とあわせて、慎重に判断をしてまいりたいと考えています。

## 鳥獣対策金網補強延命対策について

**Q** 中山間地において、収穫前にイノシシ等に荒らされて、全壊・全滅という方々がいらつしやるとい話を聞きます。金網の補修には注意しておりますが、5年もたちますと弱くなり、イノシシが侵入しやすいような金網となっている。亜鉛メッキを施した、地上より50



センチぐらいの高さまでの金網を再度供給することは由布市として検討することはできないか。

**A** (市長) 補助事業によりまして金網を設置した地区においては、維持管理、修理は各地区で行っておりまして、地区によっては地際部の強化も行っている地区もあります。しかし、保護柵の設置待ち地区もありますことから、まずは新規設置を優先させたいと考えております。

※その他「由布市内JR駅のバリアフリー化について」「熊本、大分地震り災証明異議申し立ての現状と1774件の対応について」「畑田火災、出雲大社対応における矛盾点を問う」「由布市長顕彰制定について問う」「庄内公民館の座席数について」について質問しました。



野上 安一 議員

## 安心して子どもの出産・子育てができる由布市について

**Q** 庄内、挾間地域では、専門医や大病院などが比較的近くに整備されているが、湯布院地域は小児科医や産科医が不在です。行政の支援体制についてお聞きしたい。

**A** (市長) 市内には小児科を標榜している医療機関は8医療機関、湯布院地域には3カ所ございます。小児科専門医がいる医療機関は、大分大学附属病院を除くと、「新こどもクリニック」の1医療機関のみとなり、産科のある医療機関につきましては、由布市内にはございません。市では、安心して産み育てられる環境づくりの一つとして、平成22年度から育児等保健指導「大分県ペリネイタル・ピジット推進委員会」に参加して、産後の育児不安を少しでも解消できる体制の構築に取り組んでおります。

**Q** 保育料の無料化をしてくれないかという保護者の意見が多いようです。大分県下で保育料が安いことは承知していますが。保育料の保護者負担の軽

減についての考えは。

**A** (市長) 市の保育料は、県内でも低い水準の保育料となっております。国や大分県の制度による軽減措置を行っているところでもあります。無料化については、財源確保が必要ことから実施は難しいと考えておりますが、子育て支援のためにも、負担軽減については、今後も他市町村の状況を考慮しながら検討してまいりたいと考えております。

**Q** 一般高校生の支援体制について、1人当たり月額1万円前後の通学費の負担を保護者はしております。子育てにおいて大変な負担となっている。由布高校並みの支援について考えることはできないか。

**A** (教育長) 現在のところは市内在住の由布高校生を対象に、高校への入学者の数の確保と保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的として、バス及び列車の通学費の補助を行っているところで、他については、現在のところ、まだ検討に入っておりません。

※その他「由布市の公共施設の電気料契約について」「由布市の高齢者福祉支援体制について」質問しました。





やはり気になる由布市の財政  
成果編



加藤 幸雄 議員

**Q** 合併12年間の成果について、市役所の増改築設備や既存の施設の今後の対策はどのように考えていますか。

**A** (市長) 庁舎の増改築した建物や既存の施設の維持管理費、借金の返済は、将来の由布市を担う子や孫の世代に負担を押し付けることのないよう、施設の統合、廃止を進めてまいりたいと考えております。

**Q** 県下一高い市役所職員の給与を見直すお考えはありますか。

**A** (市長) 職員の給与については、国及び県に準じた給料表を用い適正な支給を行っております。

昨年、ラスパイレース指数が県下一になりました。給与水準の適正化を図る指標でありますので、今後も給与実態についての十分な把握と分析を行い、給与の制度及び水準の適正な維持、運用に努めてまいります。

**Q** 高齢者人口が増加しています。車の免許を返した人も増えてきています。

高齢者に対してお買い物支援等を考えていますか。

**A** (市長) 高齢者に対する買い物支援等についての具体的な支援策は実施しておりません。

今年度、「地域公共交通網形成計画」を策定します。この交通網形成計画策定を受けて、具体的な実施計画を来年度策定する予定です。「タクシー券配布や迎えバスについて」は様々な課題もあり、早急な実施は難しいと考えておりますが、日常生活に必要な不可欠な交通手段の確保やまちづくりの観点からの交通施策の推進について、民間事業所とも連携し、検討してまいりたいと考えております。

**Q** 災害対策について、災害危険場所の設定と地域住民への説明会を開く予定はありますか。

**A** (市長) 災害対策や説明会について、現在県において土砂災害危険場所の基礎調査を行い、特定の条件を満たした箇所について、土砂災害防止法に基づき、警戒区域等の指定を行っております。指定する際には、各自治委員に説明をしているところでございます。また、住民の方から説明会の要請があれば説明会を行います。



有害鳥獣被害対策について



甲斐 裕一 議員

**Q** 猿被害状況の現状は。イノシシ、鹿の被害状況と動向は。県下では、イノシシの被害は減少との報道があったが、現実はどうなのか。

**A** (農政課長) 平成28年度の猿による被害額は65万3,000円で、昨年に比べまして減少しております。イノシシによる被害は、28年度の被害額は852万円となっておりますが、侵入防止柵や電気柵の設置事業、有害鳥獣捕獲事業等により、少しずつではありますが減少しております。鹿による被害については、湯布院地域を中心に年間を通して発生しており、生息地域も、庄内や挾間地域へ拡大傾向にあります。被害額は、441万3,000円となっております。イノシシ同様、少しずつではありますが減少しております。

**Q** 鳥獣保護員の高齢化対策について、高齢化が進む中で、後継者対策はどのようになっているのか。また、わな捕獲者の現状はどのようになっているのか。

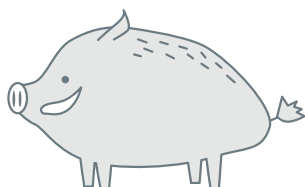
**A** (市長) 由布市では、98名の有害鳥

獣捕獲員を任命しており、平均年齢は68・4歳と高齢化をしています。狩猟者の確保対策として、新規の狩猟免許取得者に対して講習料全額補助を行っているほか、本年度から県でも狩猟免許試験手数料の免除を行っております。わな捕獲者の現状について、捕獲員のうち68名がわな捕獲者であります。有害鳥獣保護実績の約7割がわなによる捕獲となっておりまして、わなによる捕獲が主流となっております。

道路維持について

**Q** 路盤の傷みがひどいため、通行に支障をきたすといった地区があると聞peg、現状を把握しているのかどうか。

**A** (市長) 市職員等による日常の巡回パトロールや、自治区、市民の通報により、状況把握に努めているところであります。通行に支障をきたすような緊急を要する箇所につきましては、各地域整備課及び建設課でその都度対応をしております。また、維持管理が必要な箇所は、緊急度や重要度を踏まえて対応しているところであります。





田中 真理子 議員

### 九州北部に見る異常気象時代の備えについて

**Q** 1時間に降る雨量の認識について、どう認識し捉えているのか。

**A** (市長) 由布市地域の大雨予測を素早く正確に情報収集し、市民へ避難情報の伝達を行うことが重要と捉えている。

**Q** 職員の気象に対する知識や学習、研修は。

**A** (防災安全課長) 特に学習会等とは行っていない。今後防災計画を見直す中で検討していきたい。

**Q** 気象情報により、指示、勧告等を発令するタイミング、またその判断は。

**A** (市長) 気象警報発令後、防災安全課に災害警戒準備室を、各振興局に支部災害警戒準備室を設置し、情報の収集や伝達を行う。

(防災安全課長) 防災無線や防災ラジオで「早めの避難」を呼びかけている。

**Q** 最悪の場合の伝達手段は。

**A** (市長) 防災ラジオ、携帯電話へのメール伝達システム、使用できない場合は消防団や職員による広報を行う予定。



**Q** 水位計の設置状況は。

**A** (市長) 国交省管理の同尻橋下20メートルに水位観測所、県管理区間に御幸橋、宮川橋、川西地区公民館前、碩南大橋の5か所に設置。

**Q** 保水力をなす森林・竹林の整備について。

**A** (市長) 森林の持つ機能は、木材の生産、水源の涵養、土壌保全、地球温暖化対策の防止等、安全、安心のある暮らしに密接な関係がある。7割を占める森林を健全な状態で引き継ぐために、下刈り、間伐等の森林整備を支援している。大分森林管理署、県中部振興局、森林組合等の意見も聞きながら、国への働きかけも行っていく。



長谷川 建策 議員

### 日田地域における豪雨災害の湯布院観光の影響と由布市の地震復興について

**Q** 宿泊客の減少が大きいと聞くと、市の考えは。

**A** (市長) 7月の九州北部豪雨発生直後の宿泊キャンセル数は、市内で約3,000件、7月から8月の宿泊実績は、対前年比で約8割程度と予測をしております。要因は、JR久大本線の鉄橋流出による日田方面の不通が大きく影響していると考えておりまして、県や国、JR九州に対し、一日も早い復旧を継続して要望しているところであります。

**Q** 地震復興支援金1億円の進捗状況と観光以外の災害復興支援について

**A** (市長) 進捗状況については、農業・商工関係者等を入れた復興事業協議会を開催、約30件の事業を実施し計画しているところでございます。九州北部豪雨も重なり、観光・宿泊客が落ち込む中で風評被害の払拭、誘客対策等の事業展開にも活用しています。観光以外では、農業関係で由布市特産品・農産物販売PR事業、商工関係で小野屋商店街活性化

化事業及びコミュニティ事業で、ゆふいんラチオ情報発信事業を計画しているところであります。

### 18歳選挙権について聞きたい

**Q** 18歳の由布高等学校の投票率と、同じく関心度はどのくらいあるか。

**A** (選挙管理委員会事務局長) 第24回参議院議員通常選挙におきまして、由布高校生の投票率の把握はできませんが、市内の18歳投票率としまして50・77%、うち高3投票率が65・66%という結果となっております。関心度については投票率の数値が示しているとおりで、今後各関係機関の協力を得て啓発活動等を強化し、若年層を含めた全体の投票率向上に努めてまいりたいと考えています。

**Q** 市では、子ども議会、高校生議会は考えないか。

**A** (市長) 実施する議会と違いはあるものの、議会、行政の意識や仕組みを理解してもらうことを目的に、子どもたちの市民権利と責務を育む絶好の場であると考えられます。今後、関係部署と協議をしながら、開催を検討していくことも必要であると考えております。

※その他「湯布院高齢者福祉の介護保険デイサービスの廃止について」「由布市での受動喫煙対策は」を質問しました。





工藤 俊次 議員

### 小中学校の給食費について

**Q** ある県の調査結果で、出産、子育ての整備推進のために、最も力を入れるべきものとして、経済的支援の充実は60%を超えています。貧困対策、少子化対策、子育て支援のためにも1人当たり年間約5万円の保護者負担の軽減が求められていますがお考えは。

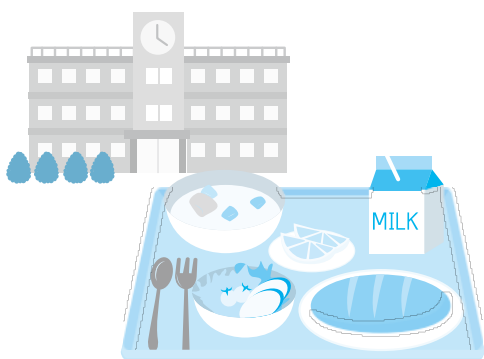
**A** (教育長) 現在、由布市の年間の給食費は、年間の総合計にいたしますと約1億6,000万円となっているところがございます。学校給食法では、給食費である給食に使用する食材費は保護者が負担することと定められております。また、就学援助等におきまして、給食費用の支給をしているところでございます。このようなことから、現時点での給食費の軽減については難しいと考えています。

**Q** 無償化に期待することとして、特に地方の自治体にとっては、少子化、過疎化、若い世代の転入や定住促進に効果が期待できるのではないかととして実施に踏み切っている。いきなり1億6,000万円考えるところからではなくて、段階

的に実施を検討していただきたいというふうに思いますが、教育長のお考えは。

**A** (教育長) 給食費に直接かかわる分としては、現在非常に困難な家庭については、就学援助の中に給食費分を織り込んでおります。当面の対策としては、そちらで対応していくと考えておりますが、一律ということについては、財源等の検討も当然必要になってくるということと、この給食費のみならず、いろいろな子どもにかかわる子育て分の軽減に向けて、今後いろんな角度から検討していく必要があるというふうに考えているところでございます。

※その他、「核兵器禁止条約について」、「国保の都道府県化について」、「庄内公民館建設について」、「挟間鶴田の通学路について」、「自治区を通じて依頼される募金」を質問しました。



太田 正美 議員

### 指定管理者制度の在り方について

**Q** 各担当課においてそれぞれが分担、管理している指定管理者の管理業務について、今後新たに指定管理者の管理課等の新たな課を設け、管理業務を一元化して担当課を新設してはどうか。専門性を持った職員の配置によって末永く指定管理者が運営できるようなシステムを構築するべきだと考えておりますが、現状と今後の方針について市の方針を。

**A** (市長) 施設所管課においては、施設の設置目的やその特性を踏まえた上で、市による直営か、制度の導入かを検討することとしております。民間の持つ能力を活用することが有効であり、住民サービスの向上と経費の削減につながると判断した場合は、指定管理者の導入を進めております。

制度に関する事務につきましては、総務課が運用全般にわたって、市としての統一した方針等を示す事務を担い、施設を管理する所管課と分担すること、効果的な事務執行ができていると考えております。

今後につきましては、現行の体制により、関係課が連携を図っていくことが大事であると考えております。

### 平成28年度水道事業会計決算審査意見書について

**Q** 湯布院地域での有収率の大幅な低下に関して、現在60%台に落ち込んでおります。現在もさまざまなところで漏水工事が突然起こっております。水道インフラの投資は緊急を要する案件であり、現状を改め、水道事業の経営体質改善を図り、新たな経営ビジョンについて市の見解を。

**A** (市長) 配水管の更新につきましては、有収率向上対策計画により、平成26年度より実施をしております。湯布院地域の平成28年度の有収率は、地震の影響により低下いたしました。今後、計画に沿って更新を行うこととしております。

経営ビジョンにつきましては、基本計画や水道ビジョンの計画期間を10年としていること、国より経営戦略を平成32年度までに策定することが求められていることから、新水道ビジョンとあわせて策定してまいりたいと考えております。

※その他「7月5日に発生した豪雨災害について」「市営住宅の管理体制について」を質問しました。



小林 華弥子 議員

隣接市町村間の開発事業に  
関する由布市の対応について

**Q** 由布市と玖珠町の境界線の一部が、国土地理院の図面と市の都市計画図面で違っている。由布市はどちらの線を市境としているのか。

**A** (建設課長) 由布市としては国土調査をした時の線を市境と思っている。

**Q** それでは玖珠町や国土地理院と由布市の認識が違ふことになる。市境を変更するのであれば、議決を経る必要があるのではないか。

**A** (総務課長) 少し詳しく調べてみたい。

**Q** 実はいまこの場所にメガソーラーの開発計画が持ち上がっている。地元自治区は既に総会で地区民全員の総意でこの開発計画には反対の決議をしている。市としてこの計画に同意するつもりは無いと考えて良いか。

**A** (市長) その通りだ。

身近な福祉サービス、行政窓口  
サービスのあり方について

**Q** 母子手当の児童扶養手当の申請を8月中に出さなければならぬとされているが、振興局の窓口延長サービスでは受け付けられないと言われた。シングルマザーで働いている母親にとって、あまりにも申請者の立場を考えていないのではないのか。もう少し窓口で柔軟な対応はできないのか。

**A** (総務課長) 今後、指摘された事を含めて改善できるよう検討したい。

**Q** 最近、市職員の皆さんに覇気が感じられず、モチベーションが低いと感じられることはないか。

**A** (市長) 特にない。

地方公務員の仕事は地味で評価される事が少ないが、それでも職員の働きがいとは、市民に感謝され市民の為に働ける事だと思ふ。職員の皆さんは上司や上の方を向くのではなく、市民の方を向いて市民の側に立つて仕事をして欲しい。由布市役所はそういう仕事ができる職場であってほしい。

※その他、「由布市政12年を振り返って」について発言しました。



太田 洋一郎 議員

福岡・大分豪雨災害の影響に  
よる観光へのダメージについて

**Q** JR九州久大線の鉄橋が流失した影響で、「ゆふいんの森号」の日豊線の迂回運行や特急等の観光列車の運行に支障があり、観光面のダメージが目に見えてわかる。宿泊施設や土産物店等の商店からは「昨年の震災後より悪い」との声を多く聞くが対策は。

**A** (市長) 市内各観光協会、旅館組合と対策会議を開き、現状の情報共有し、観光、誘客PR等を実施する。

湯の坪街道に架かる湯の坪橋  
の改修はどうなっている

**Q** 以前の一般質問で改修の必要性を訴え、市長の答弁で調査すると回答され、概略設計が作成されたと聞く。

昨年の震災等の対応の影響で、橋の改修に向けた取り組みが止まっていることは理解するが、今後の計画は。

**A** (市長) 平成27年度に市道前徳野岳本線下湯の坪橋改修概略設計を行った。今後は、自治区の役員会等と方向性に

ついて協議したい。

8月6日の平和授業について

**Q** 平和授業は重要だと思うが、台風5号接近時の開催に多くの保護者から不安と不満の声が寄せられた。

大分市内等の小中学校では学校判断で中止や延期をした学校もあると聞く。由布市教育委員会の授業開催の判断であったか。

**A** (教育長) 由布市内でも気象条件が違ふと思う、学校長判断を優先させる方向で考えていく。

※他に「電線地中化の今後の計画について」、「ゆふの丘プラザ(旧青年の家)の指定管理者について」、「市内のバリアフリー対応の改修について」、「由布市都市計画と郡・市特別区境の不一致について」等を質問しました。





淵野 けさ子 議員

若者、高齢者、共に暮らしやすい住宅環境を

**Q** (市長) 市内地域では若者子育ての世代の定住化対策として住宅用地を選定し、測量を行っている。

**Q** 挟間のサンコーポラス(旧雇用促進住宅)の入居率は。

**A** (建設課長) 入居率は51・7%、60戸に対して入居世帯は31戸です。入居手続きは由布市営雇用促進住宅条例に基づいて管理運営している。

**Q** 若者が入居しやすいように条例改正を。家賃を下げる等の工夫を要望します。

**A** (建設課長) 条例改正の必要性は感じてはいるところです。

移動図書館について

**Q** 移動図書館の実現を願う声が、地域から上がっています。実現を！

**A** (教育長) 地域で細やかに行われている介護予防サービスや、福祉関係サービス等、他課の事業との連携における図書館サービスの向上について、調査研究

を始めました。

防災計画の進捗状況は

**Q** 防災計画の見直しの進捗状況と、内容のポイントは。

**A** (市長) 1.これまでの災害を教訓に、由布市の社会特性、地域特性、災害特性を適切に反映させること。2.各課と意見調整をし、実効性や解りやすさを重視して行政による災害対応能力の向上を目指す。3.自助、共助、公助の役割をわかりやすく表現した市民向けの計画概要版を作成し配布します。4.計画など、見直しが行われた関連法令、上位計画の改定状況を反映する事としている。

**Q** 市民向けの計画概要版を作成しとありますが、どういう程度のもので作成して市民の方にお配りするのか。

**A** (防災安全課長) 市民向けとしては8〜10ページ程度の計画概要を作り、3月末に配布を計画しています。

おおつる交流センターについて

**Q** おおつる交流センターの5年、10年、15年先の展望は？ 活性化に向けて行政としてどの様に関わっていくのか。

**A** (市長) 直接的支援として、運営交付金を活動交付金を5年間交付します。人的支援は集落支援員制度の導入について地元と協議をしながら、今後研究し参加したいと考えています。



佐藤 郁夫 議員

「連携中枢都市圏」について

**Q** 大分都市広域圏の取り組みで由布市のメリットは。

**A** (総合政策課長) 核となる大分市と7市町が連携することで、小さな市町が単独ではできないことに取り組める。

「おおつる振興会」について

**Q** 振興会と行政のパイプ役として「集落支援員」の設置を考えたかどうか。

**A** (総合政策課長) 支援員制度については、地域の実情に詳しい人材を市が委嘱して、地域の方と市の連携を保って集落への目配り、巡回、状況把握をやっていたりすることになっています。国からの特別交付金の支援もあり、ぜひ由布市としても支援員については取り組んでいきたい。

道の駅設置について

**Q** 「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくため有力な手段であるので、「庄内道の駅」の実施計画を作成してほ

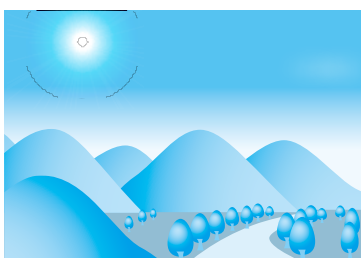
しい。

**A** (市長) 建設場所や施設構成、機能をはじめとして、まちづくりの分野との連携、地域の方々の機運の醸成、公共施設等総合管理計画等、さらに建設費用の問題など、総合的な検討の中で判断されるべきと考えます。十分な調査研究を行った上で判断していきたい。

国から指摘されたことについて

**Q** バスの運転や施設管理などを担う48事業所に支払った費用について、国より消費税率引き上げ分を加味していないと指摘されたことだったが、経過と状況を教えてください。

**A** (市長) 国より一部委託料について、平成26年4月1日の消費税改定後、消費税率引き上げ分を上乗せすることなく従前の単価によって業務委託契約を行っている行為が、消費税転嫁対策特別措置法に抵触すると指摘を受けましたので、その不足額を補正予算に計上しました。





■平成29年第3回定例会で審査した請願・陳情の結果

| 区分 | 件名                                                                                                               | 代表提出者                                    | 結果   |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------|
| 請願 | 13 JR庄内中央駅（仮称）の設置について                                                                                            | 庄内中央駅（仮称）設置実行委員会<br>代表 畑田自治委員 曾根崎 久 ほか3名 | 継続審査 |
|    | 4 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について                                                                                       | 大分県地方自治研究センター<br>理事長 中山 敬三               | 採 択  |
| 陳情 | 1 1、私達は、塚原共進会跡地での太陽光発電施設設置事業計画について、市に対して、「由布市環境基本条例」によって手続きを行なうこと<br>2、また私たちは、本件土地の売買契約書中の契約解除条項を誠実に履行することを求めます。 | 共進会跡地のメガソーラー建設に<br>反対する会 代表 江藤 和子        | 継続審査 |
|    | 4 大分川漁業協働組合に係る増殖及び環境保全予算の助成について                                                                                  | 大分川漁業協同組合<br>代表理事組合長 佐藤 守 ほか3名           | 採 択  |
|    | 5 全国森林環境税の創立に関する意見書採択に関する陳情について                                                                                  | 全国森林環境税創設促進議員連盟<br>会長 板垣 一徳              | 採 択  |
|    | 6 近火により類焼した産廃処理費についての陳情                                                                                          | 出雲大社庄内教会 代表 杉崎 重尊                        | 採 択  |
|    | 7 過疎化・超高齢化でも費用対効果の高い自家用有償運送を、公助と共助で進めましょう                                                                        | 谷 千鶴                                     | 趣旨採択 |

賛否一覧表 ※○＝賛成、●＝反対、退＝退席、欠＝欠席、議長（溝口泰章）は採決に加わらない  
〔平成29年第3回定例会〕 ※その他の上程された議案については、全員賛成で可決

| 議員名  |                                      | 議決結果 | 賛成   | 反対 | 新井 一徳 | 生野 征平 | 工藤 安雄 | 利光 直人 | 田中真理子 | 佐藤 人己 | 太田 正美 | 淵野 けさ子 | 佐藤 郁夫 | 小林 華弥子 | 長谷川 建策 | 甲斐 裕一 | 廣末 英徳 | 鷺野 弘一 | 工藤 俊次 | 加藤 幸雄 | 野上 安一 | 太田 洋一郎 |
|------|--------------------------------------|------|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 議案名  |                                      |      |      |    |       |       |       |       |       |       |       |        |       |        |        |       |       |       |       |       |       |        |
| 認定1  | 平成28年度由布市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定について    | 原案可決 | 17：1 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ●     | ○     | ○     | ○      |
| 認定2  | 平成28年度由布市水道事業会計収支決算の認定について           | 原案可決 | 17：1 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ●     | ○     | ○     | ○      |
| 議案38 | 由布市自然体験学習施設「由布市ゆふの丘プラザ」の指定管理者の指定について | 原案可決 | 14：4 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ●     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 議案39 | 平成29年度由布市一般会計補正予算（第2号）               | 原案可決 | 17：1 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 議案43 | 平成29年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）         | 原案可決 | 17：1 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 議案46 | 平成29年度由布市水道事業会計補正予算（第1号）             | 原案可決 | 17：1 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 議案47 | 平成29年度由布市庄内公民館建設（建設主体）工事請負契約の締結について  | 原案可決 | 12：6 |    | ○     | ●     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 発議6  | 地方財政の充実・強化を求める意見書                    | 原案可決 | 17：1 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |
| 発議7  | 「全国森林環境税」の創設に関する意見書                  | 原案可決 | 16：2 |    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○      | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      |

編集後記

金波のごとく、稲穂が揺れ収穫の季節となり、豊作でしたでしょうか。

今年の秋は、4年に一度の選挙の年です。このたよりが届く頃には、新しい市長と20名の議員が選出されている事でしょう。

その区切りのご挨拶が遅くなりましたが、2年間のご愛読ありがとうございました。後期9名の委員各位と試行錯誤しながら「解りやすい紙面を」と頑張ってきました。

これからも日々努力を重ね、愛される、手に取ってもらえる「議会だより」になることを願い、お礼の言葉とします。

田中 真理子

広報編集特別委員会

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 委員長  | 田中 真理子 | 甲斐 裕一 |
| 副委員長 | 加藤 幸雄  | 鷺野 弘一 |
| 委員   | 新井 一徳  | 工藤 俊次 |
|      | 淵野 けさ子 | 野上 安一 |
|      | 長谷川 建策 |       |